

令和3年12月28日

令和3年度における世界文化遺産の推薦候補に係る 文化審議会答申について

今年度の世界文化遺産の国内推薦候補の選定については、文化審議会世界文化遺産部会が、文化遺産としての価値の観点から検討を行い、12月28日に「佐渡島（さど）の金山」を推薦候補として選定する旨答申（別紙のとおり）されました。

文化審議会世界文化遺産部会による世界文化遺産の国内推薦候補の選定は推薦の決定ではなく、これを受け、今後、政府内で総合的な検討を行っていきます。

<担当>

文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室

電話：03-5253-4111(代表)

世界文化遺産企画係（内線 4768）

選定物件

世界遺産一覧表への記載に向けて今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「佐渡島の金山」を選定する。

選定理由

今年度に世界文化遺産への推薦を希望する物件は、平成30年度及び令和元年度の文化審議会答申において「『北海道・北東北の縄文遺跡群』に次ぐ案件として、有力な推薦候補案件となり得る」とされた「佐渡島の金山」であった。

文化審議会は、今年度の推薦候補について、「世界文化遺産に推薦する資産を選定する基準」（令和3年8月11日文化審議会世界文化遺産部会決定）に照らして検討を行った。

その結果、「佐渡島の金山」は、推薦書の提出までに、読み手にとってわかりやすい表現となるよう推薦書案の記述内容について一部修正すべきという課題はあるものの、全体として顕著な普遍的価値が認められ得ると考えられ、かつ、構成資産は十分な保護措置を受けていることから、今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「佐渡島の金山」を選定する。

「佐渡島の金山」について

【構成資産】①にしみかわさきんざん ②あいかわつるしきんざん
①西三川砂金山 ②相川鶴子金銀山

【概要】

17世紀における世界最大の金生産地であり、西欧の進出によって世界中の鉱山で機械化が進む16～19世紀にかけて、伝統的手工業による生産技術とそれに適した生産体制を各鉱山の特性に応じて深化させた金生産システムを示す遺構。

【暫定一覧表記載年】 平成22(2010)年



相川金銀山



鶴子銀山



西三川砂金山

